

ライフコース
around40レポート vol. 1
ワーキングマザー編

2008年5月

DAIKO

マーケティング・コミュニケーション・ラボ

◇目次

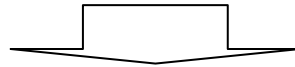
◇本調査の目的	3
◇調査の設計	4
ポイント整理①	5
ポイント整理②	6
◇調査の結果	
1. 就業実態	8
1-1. 職業	9
1-2. 年収(本人・夫)	10
1-3. 労働時間	11
2. 就業意識	12
2-1. 就業意識	13
2-2. 満足度	14
2-3. 就業理由	15
3. サポート環境	16
3-1. 子供と接する時間	17
3-2. 両親のサポート	18
3-3. 保育支援施設	21
3-4. 家事の効率化	22
4. 生活満足度	23
4-1. 暮らしの満足度	24
4-2. 生活水準	25

◇本調査の目的

■本調査レポートの位置づけ

当社マーケティング・コミュニケーションラボでは2004年より学習院大学消費者行動研究室(青木幸弘教授)、(株)リサーチ・アンド・ディベロプメントと産学協同で女性のライフコース研究を行っています。

このaround40レポートは、
ライフコース研究の一環として40歳前後の女性にフォーカスして実施した
大広独自調査結果をまとめています。



Vol. 1は「出産後の就業」に注目しており、「出産後もキャリアを継続している女性」に
フォーカスしたレポートとなっています。

■調査の視点

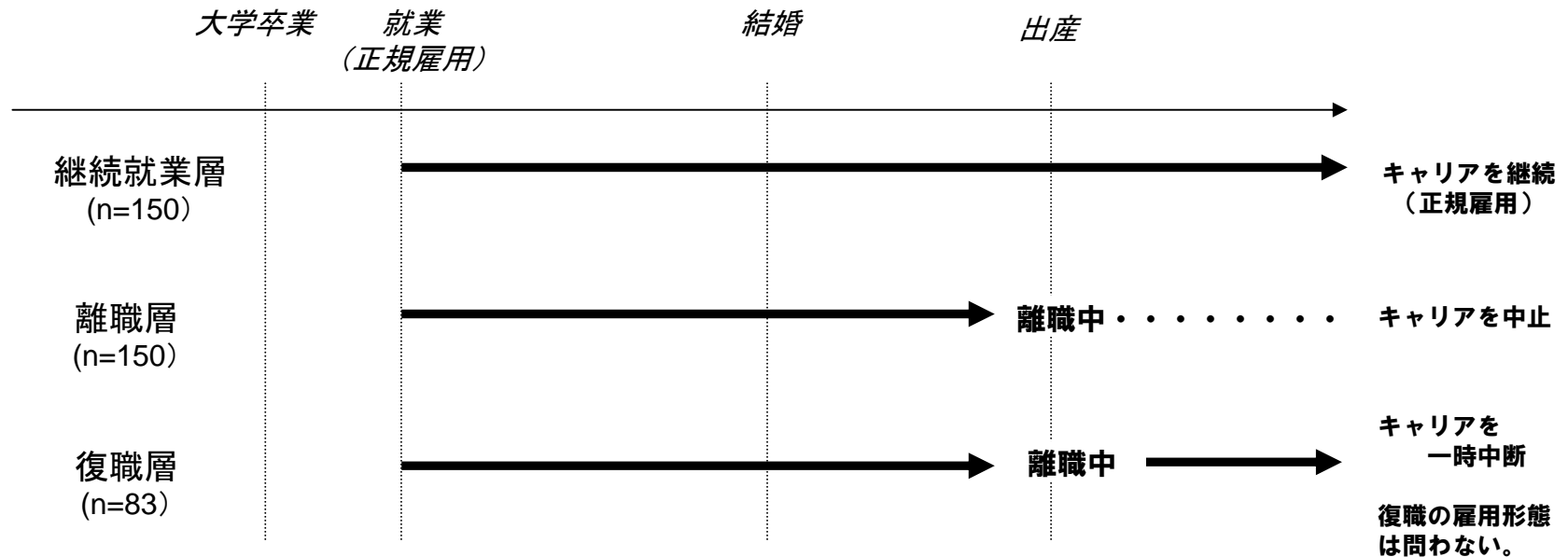
大学を卒業し、その後に就業し、出産は30代後半。
つまり、それまでにキャリアを積んだと考えられる女性たちが注目される。

その中でも、企業の育児支援制度の充実も相まって、
出産後も仕事(キャリア)を継続している
「継続就業層」が増加してきた。

同じ条件で、仕事を辞めている**「離職層」**、
離職後に仕事に復帰した**「復職層」**
との比較によって、
彼女たちの特性を導き出すとともに、注目される消費を探る。

◇調査の設計

調査対象	<p>[3層共通の条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調査対象: 35～39歳の既婚女性 ○子供の年齢は満1歳～満4歳(長子年齢) ○学歴は大学卒業以上で卒業後、就業経験あり ○産休・育休を取得中の場合は対象外
調査手法	<ul style="list-style-type: none"> ○インターネット調査で実施 (ネット調査会社の調査パネルを利用)
セグメント	<p>○下図の形で「継続就業層」「離職層」「復職層」の3層を対象に調査を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「継続就業層」=150s → 学卒就業後、1年以上、働いていない期間はない。現在は正規雇用。 「離職層」 =150s → 学卒就業後、結婚・出産などの理由で職を離れる。現在は職についていない。 「復職層」 =83s → 学卒就業後、結婚・出産などの理由で1年以上職を離れる。現在は就業。 (雇用形態は問わない) <p>※各層150sを目標に調査を行ったが、条件に当てはまる復職層は83サンプルしか回収できなかったため、この回収数で分析を行う。</p>



ポイント整理①

〔調査結果のポイント〕

1. 就業実態

- キャリアを継続し、正規雇用されている「継続就業」に対して、復職は非正規雇用が中心。
- 「継続就業層」は年収400万円以上が6割。夫との合算で考えると収入は高い。

3. サポート環境

- 平日は子供と接する時間が少ない継続就業層。子供のサポートは両親に頼っている部分もあるが、同時に保育施設・保育支援に費用を掛けている。
- 継続就業は「食洗機」「洗濯乾燥機」といった機器による家事の効率化を实践。未だ利用は低いものの、今後は掃除代行・家政婦などのサービスに期待。

2. 就業意識

- 現在働いている層も8割が「可能な限り働きたい」。また離職層も7割が就業を希望。結婚前にOLをする腰掛けOLならぬ、腰掛専業主婦。
- 継続就業では「キャリアを活かしたい」65%、「自己実現」55%。金銭面だけでなく、これまでのキャリアを活かし続けたいという意識が就業につながっている。

4. 生活満足度

- 離職層と比べて、時間に対する満足度が低い継続就業層。一方で、継続就業層はお金に関する満足度（金銭面での余裕）は高い。時間とお金のトレードオフが成りたつ。

～ background ～

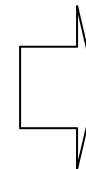
企業の産休・育休などの支援制度によって、今後、増加するであろう「継続就業層」



～ mind ～

金銭面だけでなく、「キャリアを活かした自己実現」を目指している。

“築いたキャリアを失いたくない”



～ actuality ～

しかし、育児と仕事の両立には苦慮している様子が伺える。

“時間が足りない”

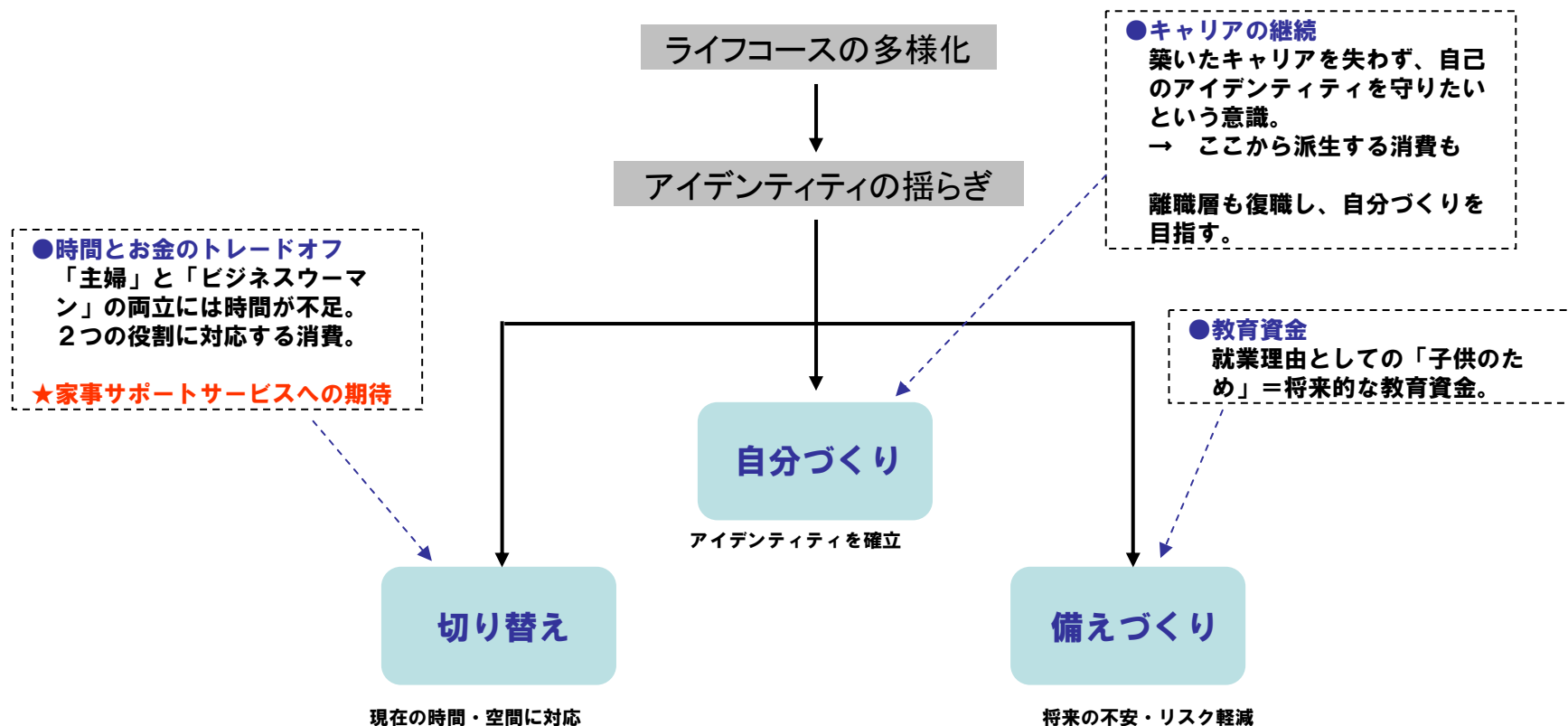
キャリアの維持を支援するためのサービス消費に期待。専門性の高い「家事代行サービス」で、家事のプロに依頼する。

ポイント整理②

〔ライフコース研究から見られる消費〕

ライフコース研究では、ライフコースの多様化＝標準モデルがなくなり、生活設計が自己責任化されることによって、女性のアイデンティティに揺らぎが生じ、それによって「自分づくり」「切り替え」「備えづくり」の3つの消費が発生すると想定している。

今回の調査結果から導き出された消費キーワードを当てはめると、下記のようにになると考えられる。

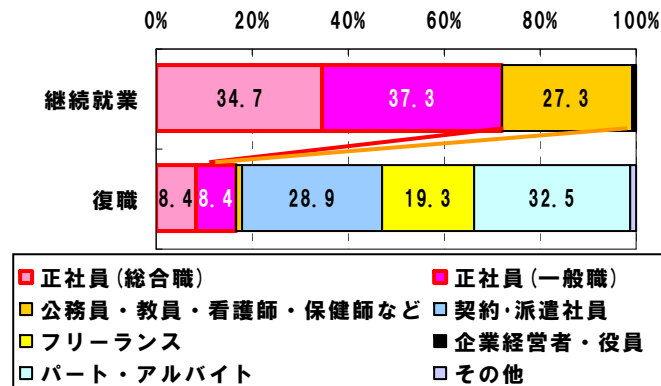


調査の結果

1. 就業実態

〔職業〕

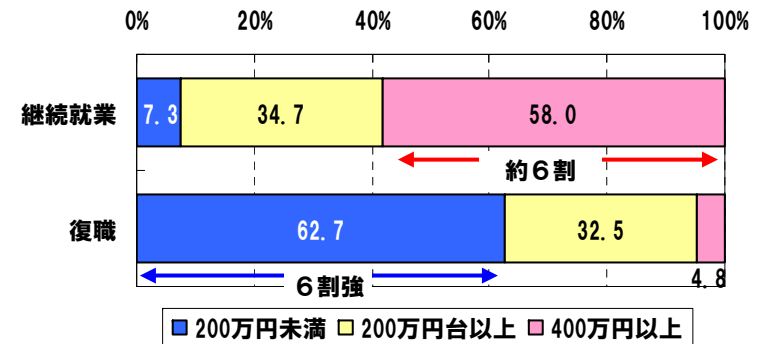
復職は非正規雇用が中心になっているのが実態。



〔年収〕

正規雇用と非正規雇用との収入の差は明確。

継続就業層は400万円以上が中心。

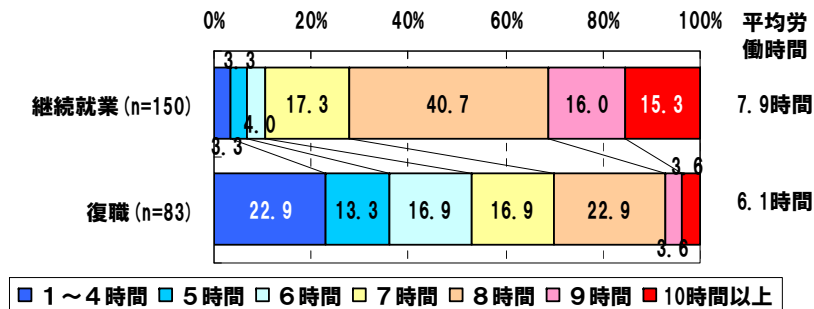


〔労働時間〕

継続就業層は8時間前後が中心。

ただし、長時間勤務者も散見される。

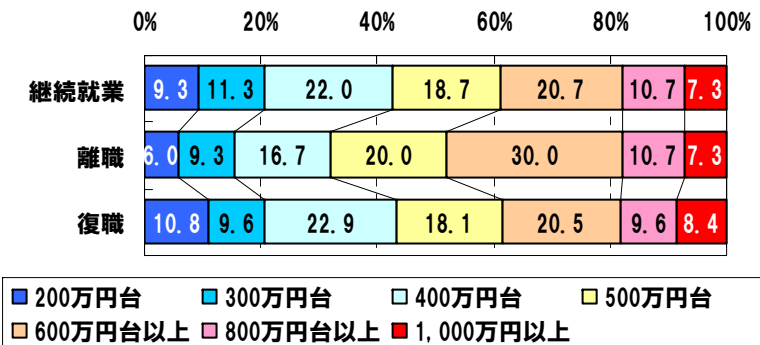
復職は雇用形態もあり、様々。



〔夫の年収〕

離職層でやや高い傾向が見られたが大きな差はない。

→妻の収入がそのまま世帯収入の差になる。



継続就業と復職では雇用形態が異なる。
 継続就業は調査対象を正規雇用に限定したこともあり、
 非正規雇用が多く含まれる復職との差は明確。
 雇用形態の差が収入・労働時間に直結する。

1-1. 職業

●あなたの現在の職業をお知らせください。

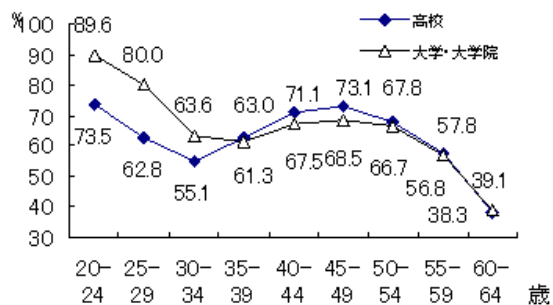
◇継続就業は総合職正社員、公務員

- ▶ 正規雇用を条件とした継続就業に対し、復職はアルバイト・派遣社員・契約社員など、非正規雇用が中心。
- ▶ 継続就業層では「総合職」の比率が高いのも特徴といえる。

【集計結果】

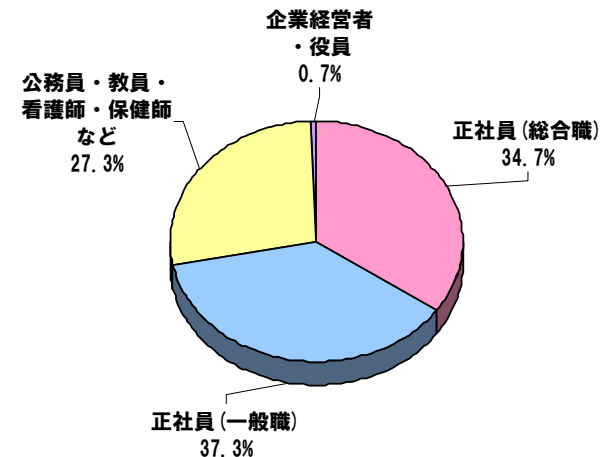
あなたの職業	正社員 (総合職)	正社員 (一般職)	公務員・ 教員・ 看護師・ 保健師など	契約・ 派遣社員	フリーランスの仕事・ 在宅勤務・ 在宅での仕事/商工・ 自営業	企業 経営者・ 役員	パート・ アルバイト	その他
継続就業 (n=150)	34.7	37.3	27.3	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0
復職 (n=83)	8.4	8.4	1.2	28.9	19.3	0.0	32.5	1.2

(参考) 総務省統計局「就業構造基本調査」(平成9年)

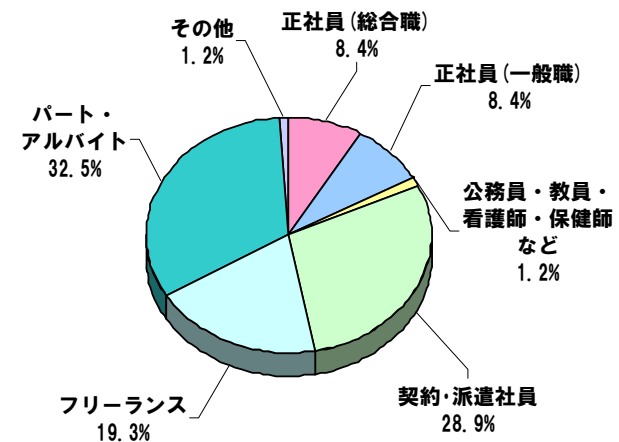


女性の労働力曲線は育児のため、一度職を離れ、その後復帰するM字型の曲線を描くといわれているが、大卒者は育児期間が過ぎても復職しないケースが多い。これは、復職の際に希望する仕事に復帰できないという「雇用のミスマッチ」が要因の一つとして考えられる。

継続就業 (n=150)



復職 (n=83)



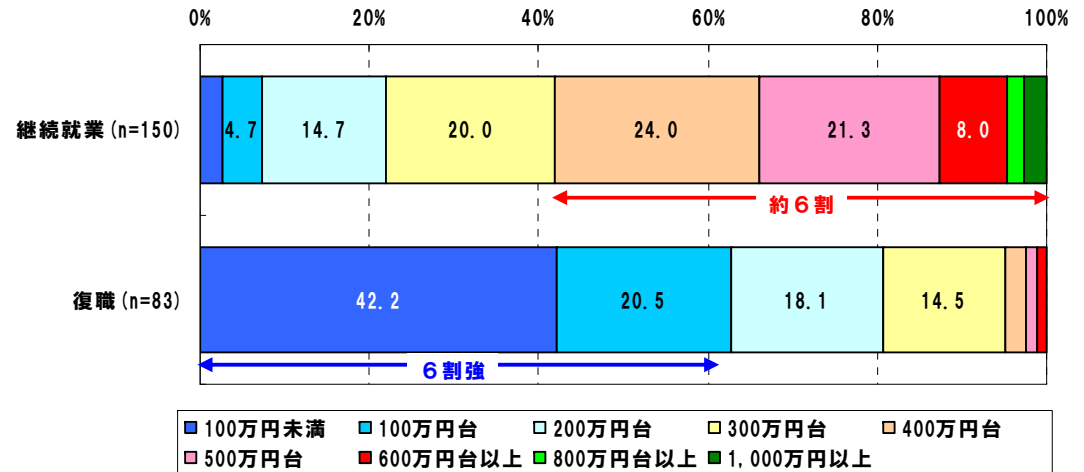
1-2. 年収(本人・夫)

●あなたの年収とご主人の年収をお知らせください。(税込み年収でお答えください)

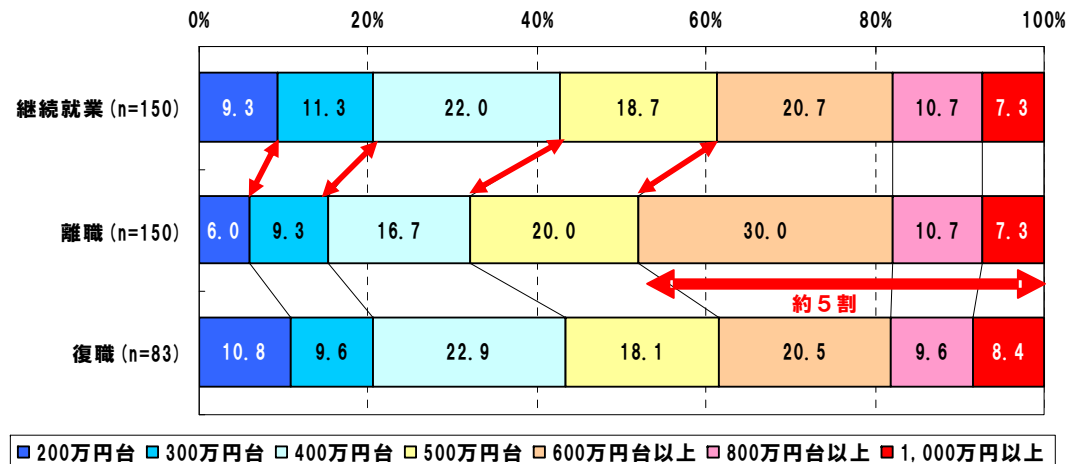
◇収入面は余裕のある継続就業

- 継続就業層は400万円以上が6割を占める。
1,000万円以上も出現しており、収入が高い。
対して復職の収入は200万円未満がほとんど。
- 夫の収入では継続就業・復職では差が見られないが、離職はやや高めの傾向。
夫の収入の高さから離職というコース(就業しない)ことを選択しているケースも考えられる。
- いずれにしても合算ベースで考えると継続就業世帯の収入面での余裕は明らか。

本人の収入



夫の収入



【集計結果】

あなたの年収	100万円未満	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台以上	800万円台以上	1,000万円以上
継続就業 (n=150)	2.7	4.7	14.7	20.0	24.0	21.3	8.0	2.0	2.7
復職 (n=83)	42.2	20.5	18.1	14.5	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0

ご主人の年収	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台以上	800万円台以上	1,000万円以上
継続就業 (n=150)	9.3	11.3	22.0	18.7	20.7	10.7	7.3
離職 (n=150)	6.0	9.3	16.7	20.0	30.0	10.7	7.3
復職 (n=83)	10.8	9.6	22.9	18.1	20.5	9.6	8.4

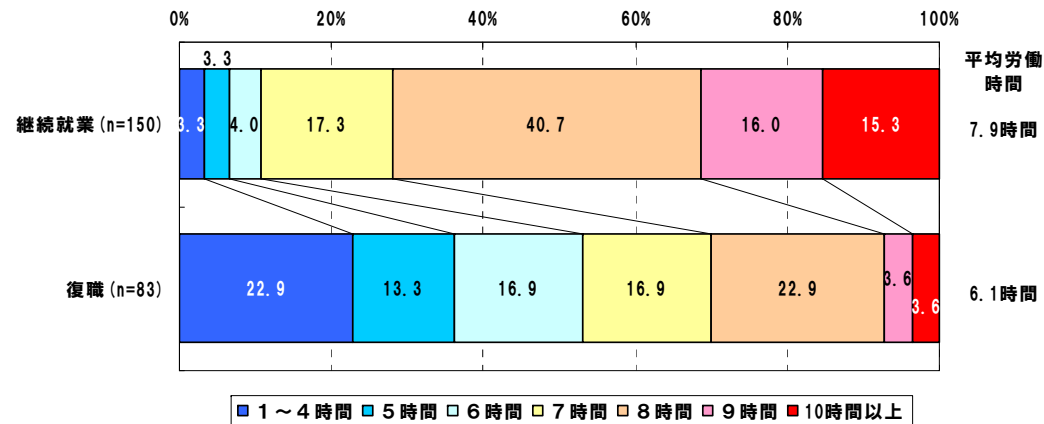
1-3. 労働時間

●あなたは1日（残業などを含め）平均、何時間くらい働いていますか？

◇収入面では余裕のある継続就業

- ▶ 継続就業層の平均労働時間は一日約8時間。
10時間以上と勤務時間の長いケースもみられるが、ほとんどが8時間前後であり、多くがフルタイム勤務ではあるが、育児との両立のために残業はあまり行っていない傾向が伺える。
- ▶ 復職層の労働時間は様々。ただし平均すると6時間以上となり、決して勤務時間が短いとも言い切れない。

本人の労働時間



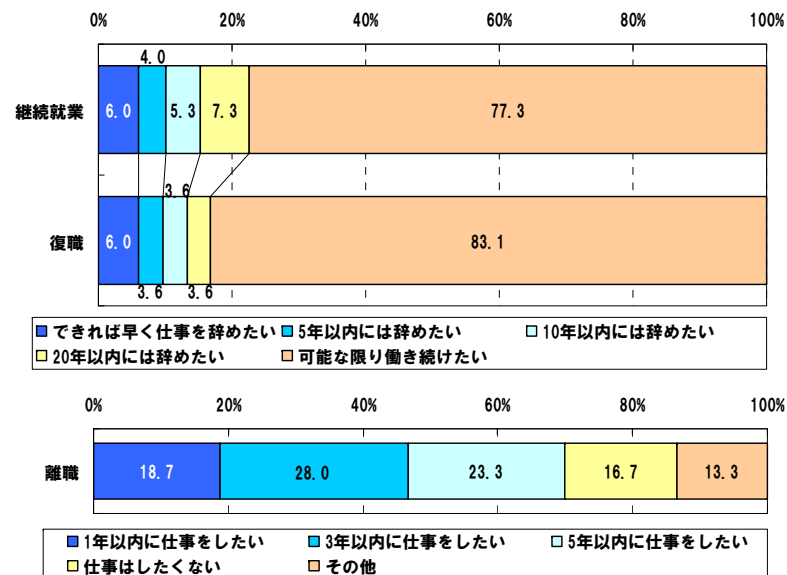
【集計結果】

一日の労働時間	1~4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間以上
継続就業 (n=150)	3.3	4.0	17.3	40.7	16.0	15.3	3.6
復職 (n=83)	22.9	13.3	16.9	16.9	22.9	3.6	3.6

2. 就業意識

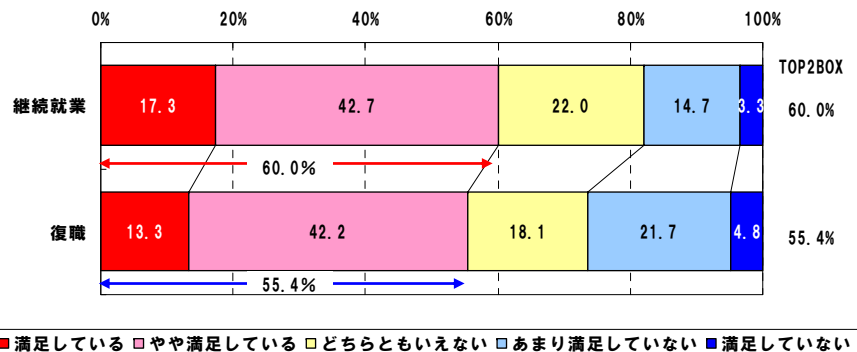
〔就業意識〕

継続就業層も復職層も働き続けたい。
離職層もいつかは復職したい。



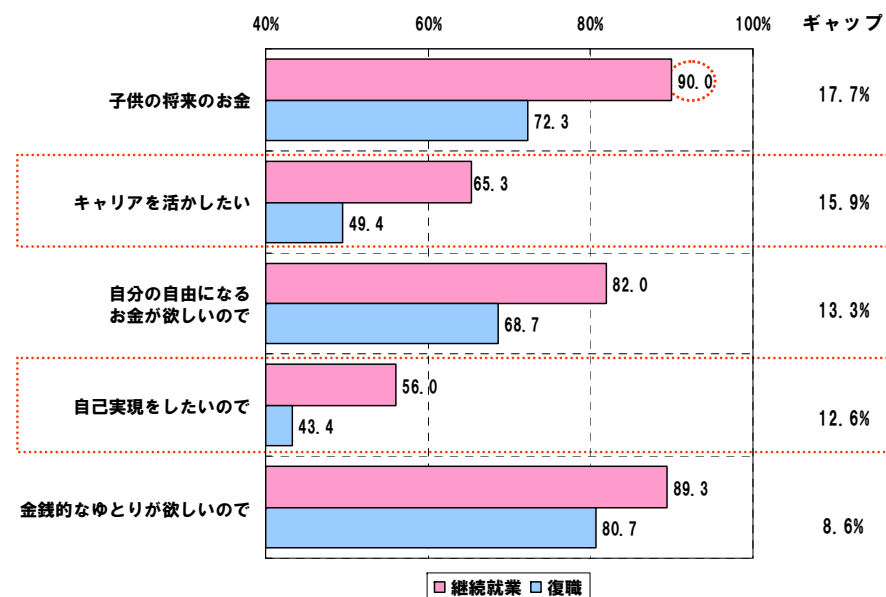
〔満足度〕

実際に働いている人の満足度も高い。



〔働く理由〕

金銭面だけでなく、キャリアを目指して自己実現をしたいという意識が見られた。
また継続就業で「子供の将来」=教育資金が高い点も注目される。



※「継続就業」と「復職」でギャップが大きい5つの理由。

女性が働くことに疑問を感じない彼女たち。
現在は離職であっても、子育てがひと段落したら復職を目指すであろう。
なお、その就業理由は必ずしも金銭面だけではない。
キャリアを活かして自己実現がモチベーションに。

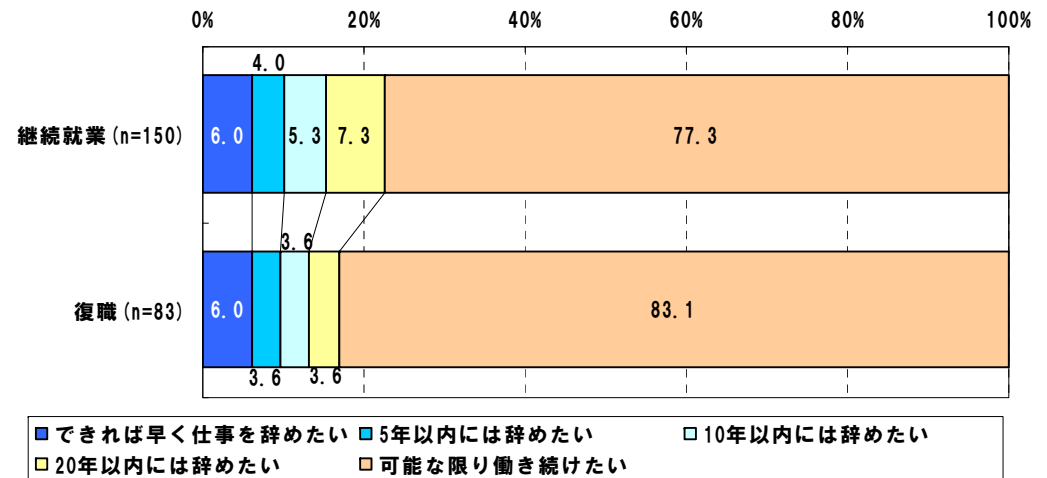
2-1. 就業意識

- 【継続就業・復職者】あなたは、いつぐらいまで働きたいと思いますか？
【離職者】あなたは今後、お仕事（就業形態は問わず。在宅も含めて）をしたいと思いますか？

◇aroud40マザーは働きたい

- 継続就業層も復職層も「可能な限り働きたい」。彼女たちは一時的に働いているのではなく、今後も働き続ける意志を持っている。
- また離職層も多くが今後仕事をしたいと回答。離職層の多くは復職予備軍と考えられる。
- 今後、離職層の復職がどのような形で進むのかが注目される。

いつまで働きたいか



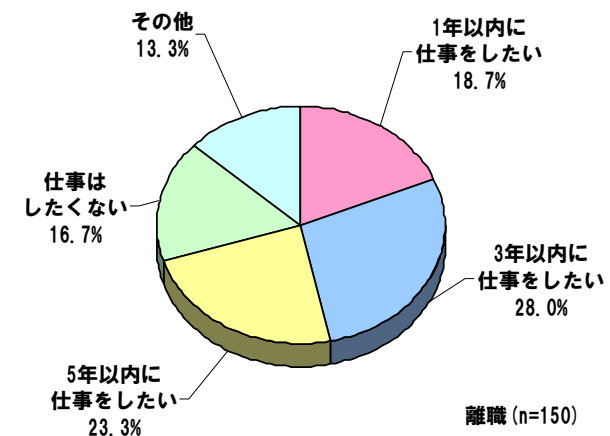
※帯グラフ内の数値は3%未満を非表示としております。

【集計結果】

いつまで働きたいか	できれば早く仕事を辞めたい	5年以内には辞めたい	10年以内には辞めたい	20年以内には辞めたい	可能な限り働きたい
継続就業 (n=150)	6.0	4.0	5.3	7.3	77.3
復職 (n=83)	6.0	3.6	3.6	3.6	83.1

今後仕事をしたいと思うか	1年以内に仕事をしたい	3年以内に仕事をしたい	5年以内に仕事をしたい	仕事はしたくない	その他
離職 (n=150)	18.7	28.0	23.3	16.7	13.3

いつ頃から働きたいか



2-2. 満足度

●あなたは自分の仕事に満足していますか？

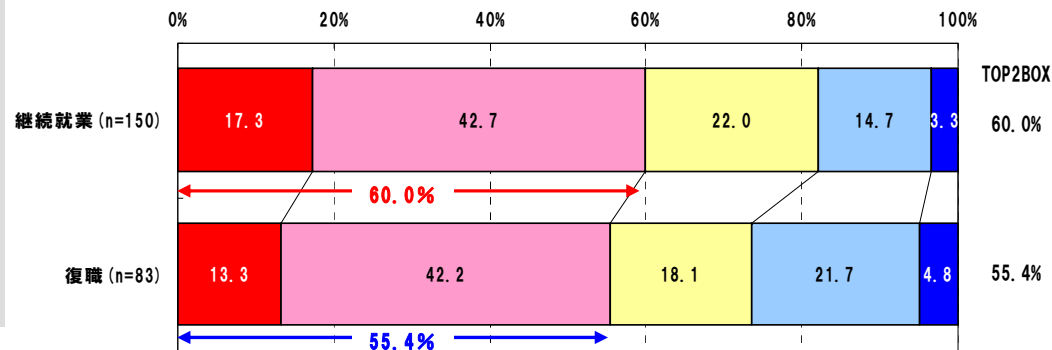
◇継続就業も復職も仕事には満足

- ▶ 継続就業層の仕事への満足度はTOP2BOXで6割。復職層でも55%となっており、仕事への満足度は高い。
- ▶ 不満足の原因としては、復職層で収入などの待遇面の不満が上がっているが、継続就業層も含め「従来ほど責任ある仕事が任せられないこと」など、業務内容に対しての不満も多くあがっている。

【集計結果】

仕事の満足度	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
継続就業 (n=150)	17.3	42.7	22.0	14.7	3.3
復職 (n=83)	13.3	42.2	18.1	21.7	4.8

仕事への満足度



■ 満足している □ やや満足している □ どちらともいえない □ あまり満足していない ■ 満足していない

■ 不満足と思う理由 (継続就業)

【あまり満足していない】

- ◆ 出産前に比べて仕事のペースをおさえており、責任ある仕事ができなくなった。
- ◆ 本来は研究開発職だったが、育児休暇後にルーチン専門の品質管理部門に異動になった。
- ◆ 自分の能力の半分も使わなくてよい仕事なので、仕事としてはおもしろくないため。
- ◆ 忙しいのに 育児休暇 (時間) を取っているのに時間がない。
- ◆ 短時間勤務だから。
- ◆ 自分の能力を生かしきれていない気がする。
- ◆ 育児中ということで、一人前扱いされていないような気がする。

【満足していない】

- ◆ 仕事の上司に子育てに対する理解がまったくない。
- ◆ 育児に対して理解がない。
- ◆ 昇進がない。
- ◆ 独身時代のように正社員としてバリバリ働きたい。

(復職)

【あまり満足していない】

- ◆ 契約社員であり、期限がきたら切られてしまうから。
- ◆ 自分の専門としている仕事ではないし、時間的な制約もあって満足のいくようにはできないので。
- ◆ 仕事内容には満足だが、準備や作業自体に時間を割きたいと思っても、勤務時間が決められていて、思ったような仕事が出来ていない。
- ◆ 末端の仕事なのでやりがいが少ない。
- ◆ 今は育児の合間に仕事をしているので、片手間にやっている感じがするのと、正社員として働きたいから。金銭的にラクになりたいから。

【満足していない】

- ◆ 拘束時間が長い。
- ◆ 時給が低い。かつての年収の10分の1以下。
- ◆ 子どもが保育園に入園できず、思い通りの仕事できていない。
- ◆ 在宅の仕事で、まだ復帰したばかりではありますが、なかなか出産前のようにかどりません。育児のせいにはしたくないのですが、「以前のようにできるはずだ」という思いが強く、不満が募るのだと思います。

2-3. 就業理由

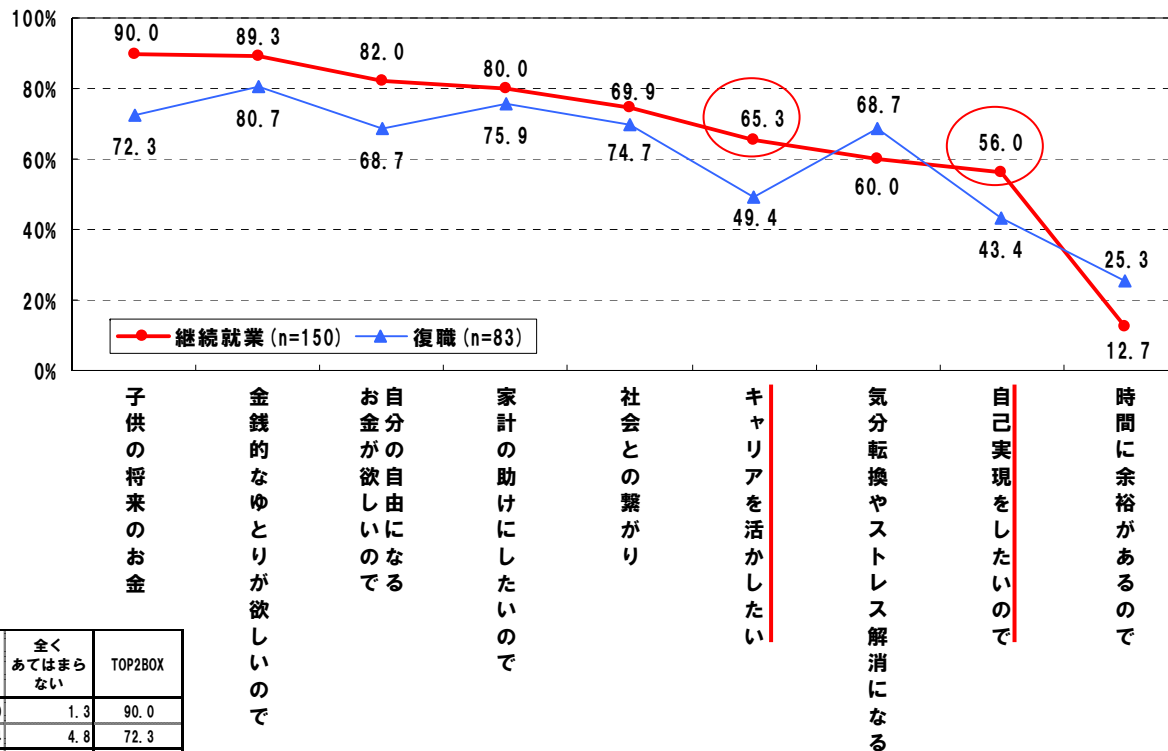
●あなたが仕事を続ける理由はどのようなことですか？それぞれ「非常にあてはまる」～「全くあてはまらない」の5段階でお知らせください。

◇キャリアを活かしたい意識が強い

▶働く理由としては、「金銭的なゆとり」「自分が自由になるお金」など収入関連が多くあがっているが、同時に「キャリアを活かしたい」「自己実現をしたい」といった、“自分づくり”の面も見られた。継続就業では特にこの意識が高い。

▶また、継続就業層で「子供の将来のお金」が高い点も注目。おそらく教育資金であると考えられ、この層の教育熱の高さが感じられる。

働く理由 (TOP2BOX)



【集計結果】

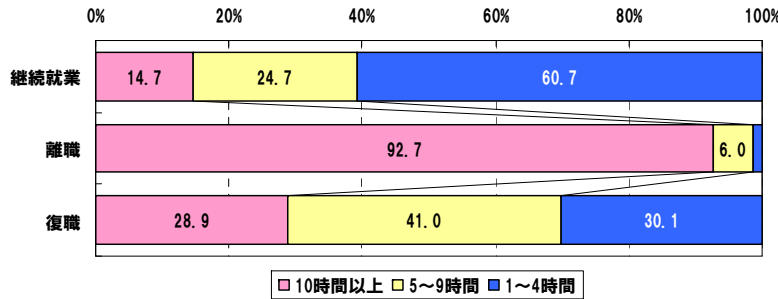
理由	就業層	5段階評価					TOP2BOX
		非常にあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	
子供の将来のお金	継続就業 (n=150)	50.7	39.3	4.7	4.0	1.3	90.0
	復職 (n=83)	38.6	33.7	14.5	8.4	4.8	72.3
金銭的なゆとりが欲しいので	継続就業 (n=150)	49.3	40.0	4.7	4.7	1.3	89.3
	復職 (n=83)	41.0	39.8	6.0	7.2	6.0	80.7
自分が自由になるお金が欲しいので	継続就業 (n=150)	42.0	40.0	9.3	6.0	2.7	82.0
	復職 (n=83)	30.1	38.6	14.5	10.8	6.0	68.7
家計の助けにしたいので	継続就業 (n=150)	46.7	33.3	7.3	10.7	2.0	80.0
	復職 (n=83)	42.2	33.7	9.6	9.6	4.8	75.9
社会との繋がり	継続就業 (n=150)	30.0	44.7	12.7	6.0	6.7	74.7
	復職 (n=83)	30.1	39.8	13.3	12.0	4.8	69.9
キャリアを活かしたい	継続就業 (n=150)	27.3	38.0	14.0	14.0	6.7	65.3
	復職 (n=83)	25.3	24.1	21.7	16.9	12.0	49.4
気分転換やストレス解消になる	継続就業 (n=150)	14.7	45.3	19.3	11.3	9.3	60.0
	復職 (n=83)	31.3	37.3	14.5	7.2	9.6	68.7
自己実現をしたいので	継続就業 (n=150)	22.0	34.0	19.3	15.3	9.3	56.0
	復職 (n=83)	22.9	20.5	27.7	14.5	14.5	43.4
時間に余裕があるので	継続就業 (n=150)	0.7	12.0	22.7	32.0	32.7	12.7
	復職 (n=83)	6.0	19.3	30.1	16.9	27.7	25.3

*TOP2BOX = 「非常にあてはまる」 + 「ややあてはまる」

3. サポート環境

〔子供と接する時間(平日)〕

継続就業層は平日は子供と接することができない。

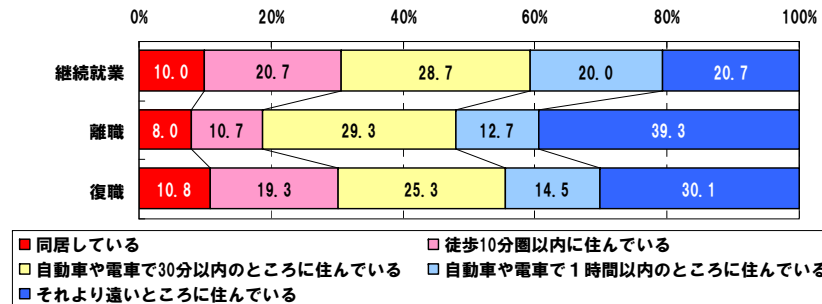


就業を続けるためにはサポートが必要。
子供と接する時間は短く、両親や保育施設のサポートは必要。
継続就業では「仕事を続けるためにはお金を惜しまない」という意識が見られる。

〔両親のサポート〕

継続就業層はやはり、近居が多い。

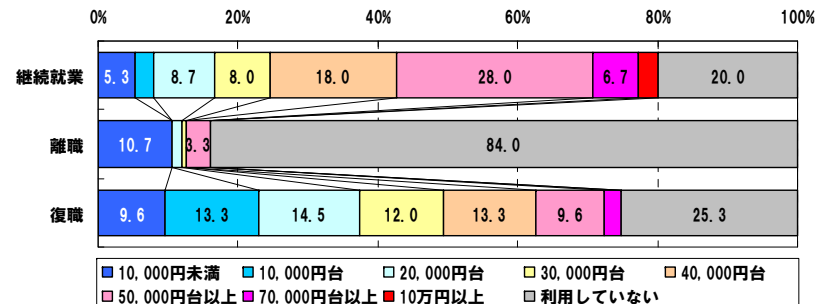
子供を預けるなどのサポートを両親に利用している人も。



〔保育施設・保育支援〕

就業者の多くが利用。

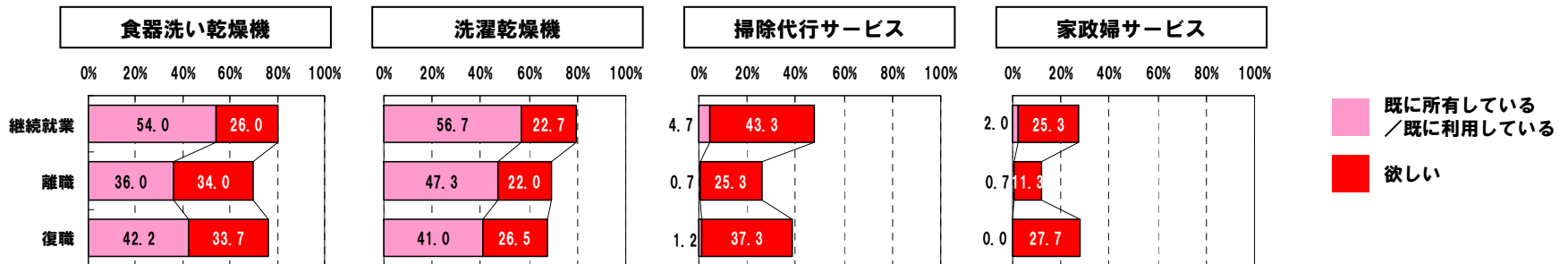
利用者の多くは50,000円以上のお金を掛けている。



〔家事効率〕

食器洗い乾燥機、洗濯乾燥機など、機器による家事の効率化を継続就業層は実践。

今後は掃除・家政婦などのサービスに期待。



※帯グラフ内の数値は3%未満を非表示としております。 16

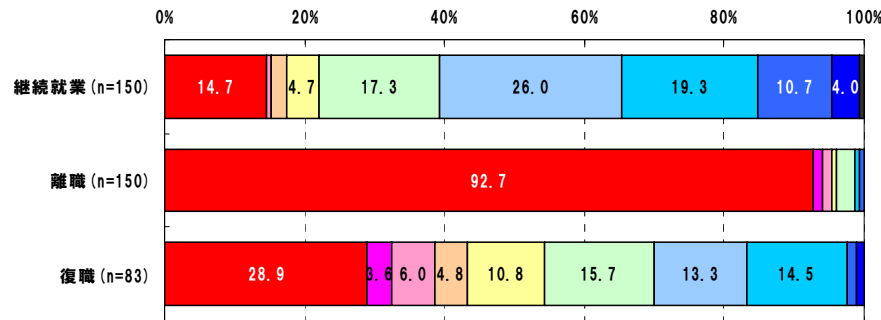
3-1. 子供と接する時間

●あなたがだん子供と接している時間を大体で結構ですのお知らせください。（子供が寝ている時間は含みません。）

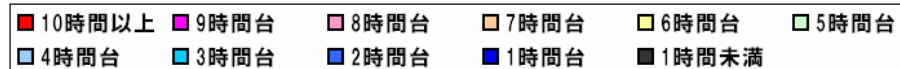
◇平日は子供の相手ができない

➤継続就業層は勤務時間も長いため、平日は子供と接する時間は限られる。

子供と接する時間（平日）



子供と接する時間（休日）



【集計結果】

平日に子供と接する時間	10時間以上	9時間台	8時間台	7時間台	6時間台	5時間台	4時間台	3時間台	2時間台	1時間台	1時間未満
継続就業 (n=150)	14.7	0.0	0.7	2.0	4.7	17.3	26.0	19.3	10.7	4.0	0.7
離職 (n=150)	92.7	1.3	1.3	0.0	0.7	2.7	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0
復職 (n=83)	28.9	3.6	6.0	4.8	10.8	15.7	13.3	14.5	1.2	1.2	0.0

休日に子供と接する時間	10時間以上	9時間台	8時間台	7時間台	6時間台	5時間台	4時間台	3時間台	2時間台	1時間台	1時間未満
継続就業 (n=150)	90.7	0.7	4.0	1.3	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
離職 (n=150)	94.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
復職 (n=83)	91.6	4.8	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0

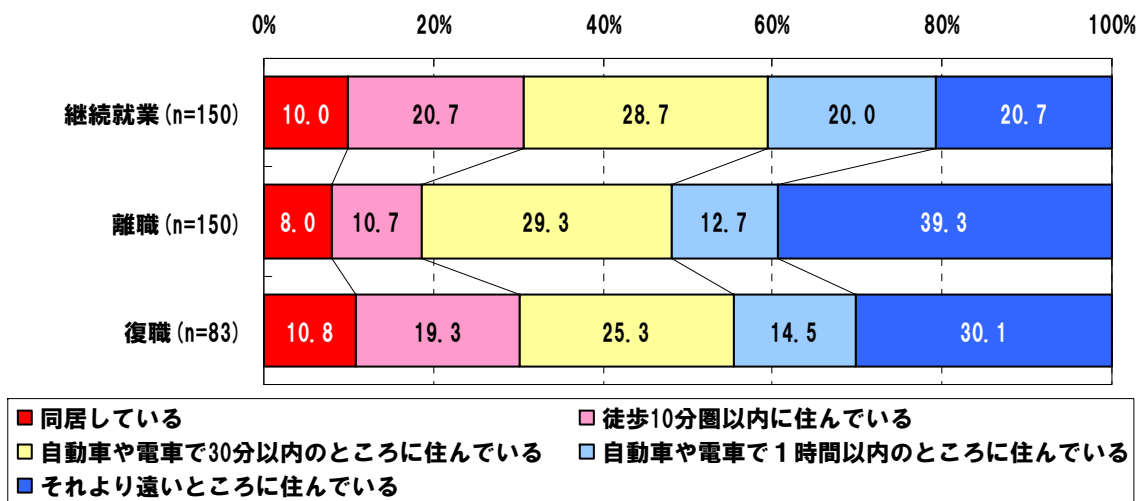
3-2. 両親のサポート

●あなたの親、またはご主人の親と、同居・近居についてお知らせください。

◇両親のサポートで継続就業

- 継続就業層の特徴として、自分もしくは夫の両親との近居があげられる。近くに住んでいることでサポートをしてもらいやすい体制にあることが多い。
- 実際に「子供を預かってもらう」などのサポートを両親から受けているケースが継続就業層では多く見られた。

両親の居住地との位置関係



※「自分の親」「夫の親」のいずれか、より近くに住んでいるほうで回答

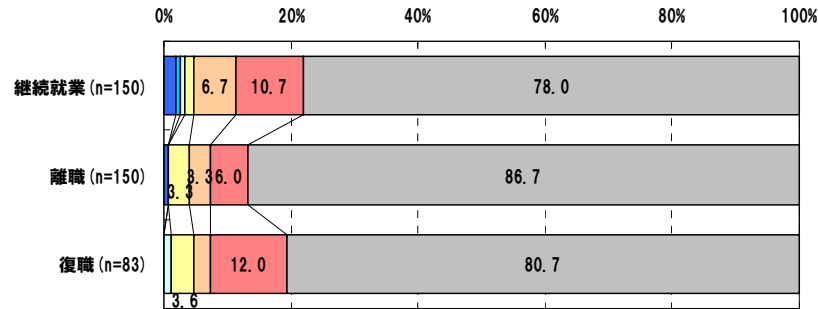
【集計結果】

親との距離(近い方)	同居している	徒歩10分圏以内に住んでいる	自動車や電車で30分以内のところに住んでいる	自動車や電車で1時間以内のところに住んでいる	それより遠いところに住んでいる
継続就業 (n=150)	10.0	20.7	28.7	20.0	20.7
離職 (n=150)	8.0	10.7	29.3	12.7	39.3
復職 (n=83)	10.8	19.3	25.3	14.5	30.1

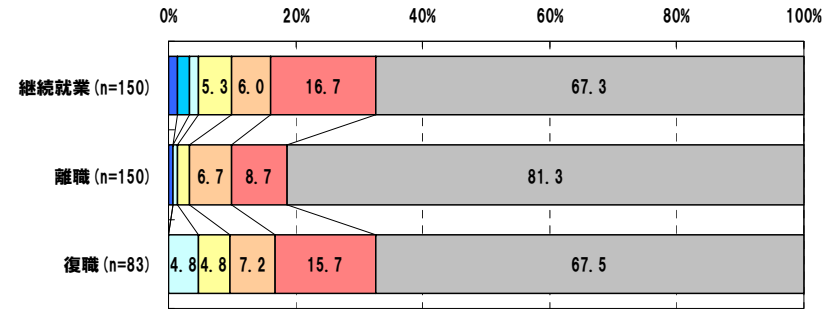
3-2. 両親のサポート

●あなたの親、もしくはご主人の親に家事や育児を手伝ってもらっていますか？

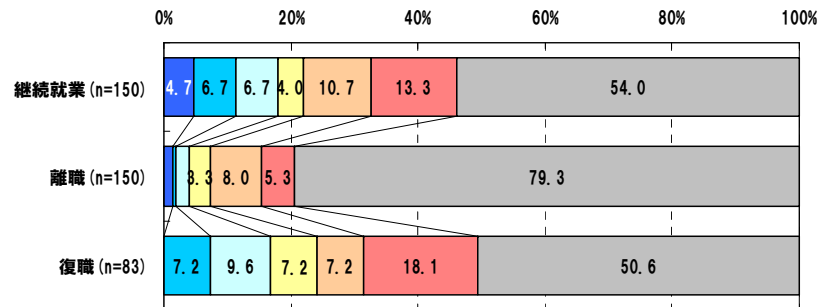
自分の家の掃除



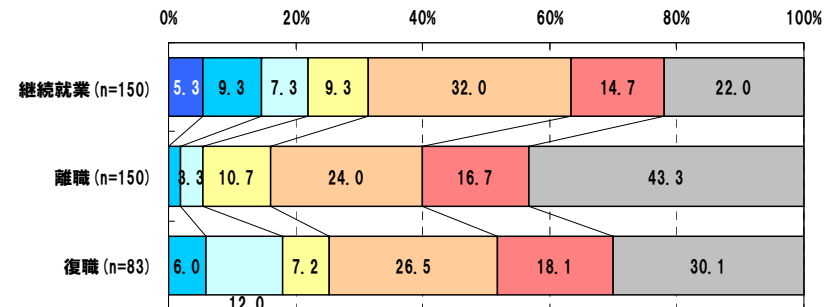
自分達夫婦や子供の分の買い物



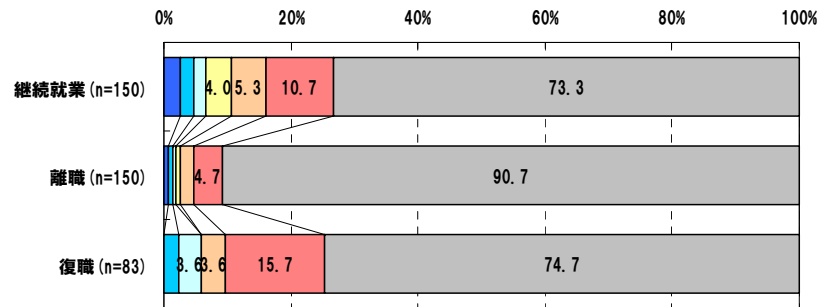
自分達夫婦や子供の食事の準備



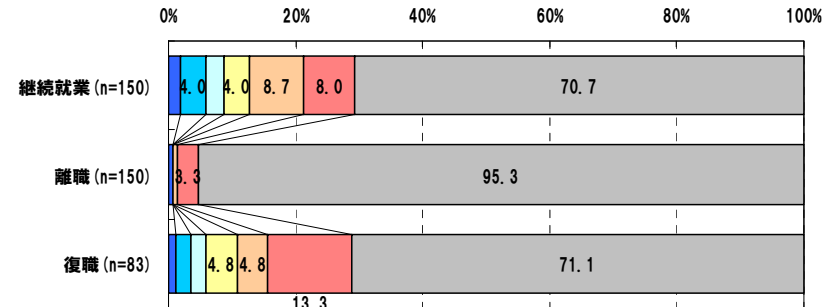
子供を預かってもらう



自分達夫婦や子供の洗濯



子供の学校や塾などへの送り迎え



■ 毎日手伝ってもらっている ■ 平日は、ほぼ毎日手伝ってもらっている ■ 週2-3回程度手伝ってもらっている ■ 週1回程度は手伝ってもらっている
 ■ それ以下の頻度で手伝ってもらっている ■ ほとんど手伝ってもらっていない ■ 全く手伝ってもらっていない

3-2. 両親のサポート

●あなたの親、もしくはご主人の親に家事や育児を手伝ってもらっていますか？

【集計結果】

		毎日 手伝っ てもらっている	平日は、 ほぼ毎日 手伝っ てもらっている	週2-3回程度 手伝っ てもらっている	週1回程度は 手伝っ てもらっている	それ以下の頻度で 手伝っ てもらっている	ほとんど 手伝っ てもらっていない	全く 手伝っ てもらっていない
自分の家の掃除	継続就業 (n=150)	2.0	0.7	0.7	1.3	6.7	10.7	78.0
	離職 (n=150)	0.7	0.0	0.0	3.3	3.3	6.0	86.7
	復職 (n=83)	0.0	0.0	1.2	3.6	2.4	12.0	80.7
自分達夫婦や 子供の食事の 準備	継続就業 (n=150)	4.7	6.7	6.7	4.0	10.7	13.3	54.0
	離職 (n=150)	1.3	0.7	2.0	3.3	8.0	5.3	79.3
	復職 (n=83)	0.0	7.2	9.6	7.2	7.2	18.1	50.6
自分達夫婦や 子供の洗濯	継続就業 (n=150)	2.7	2.0	2.0	4.0	5.3	10.7	73.3
	離職 (n=150)	0.7	0.7	0.7	0.7	2.0	4.7	90.7
	復職 (n=83)	0.0	2.4	3.6	0.0	3.6	15.7	74.7
自分達夫婦や 子供の分の買い物	継続就業 (n=150)	1.3	2.0	1.3	5.3	6.0	16.7	67.3
	離職 (n=150)	0.7	0.0	0.7	2.0	6.7	8.7	81.3
	復職 (n=83)	0.0	0.0	4.8	4.8	7.2	15.7	67.5
子供を 預かってもらう	継続就業 (n=150)	5.3	9.3	7.3	9.3	32.0	14.7	22.0
	離職 (n=150)	0.0	2.0	3.3	10.7	24.0	16.7	43.3
	復職 (n=83)	0.0	6.0	12.0	7.2	26.5	18.1	30.1
子供の学校や 塾などへの 送り迎え	継続就業 (n=150)	2.0	4.0	2.7	4.0	8.7	8.0	70.7
	離職 (n=150)	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	3.3	95.3
	復職 (n=83)	1.2	2.4	2.4	4.8	4.8	13.3	71.1

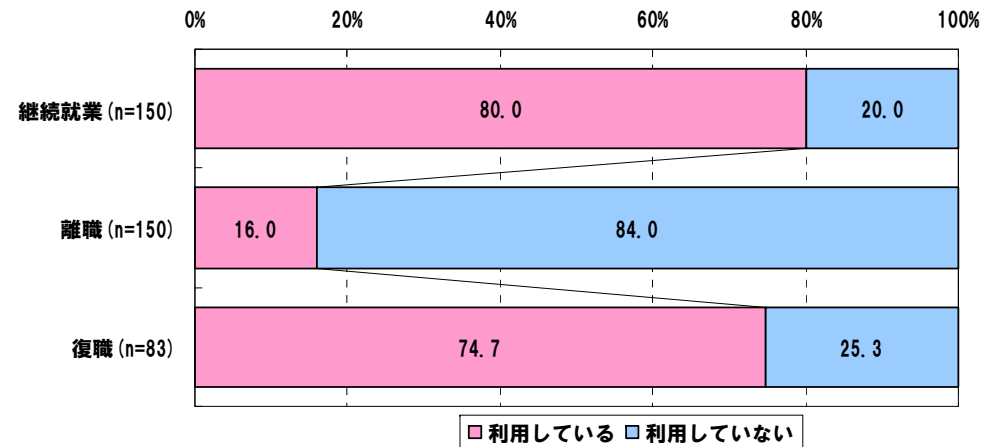
3-3. 保育施設・保育支援

- あなたは、保育所・ベビーシッターなどの保育施設を利用していますか？
- 利用されている保育支援に月間で合計いくら位お金をかけていますか？

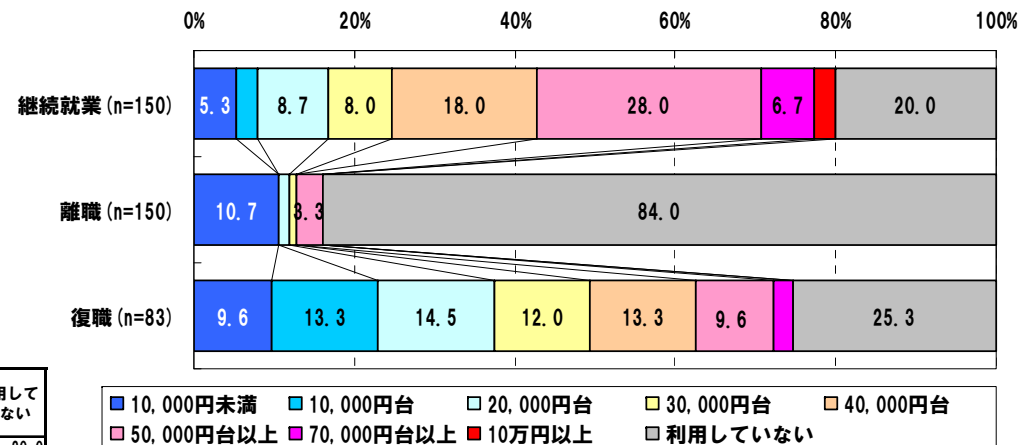
◇働くために保育施設にお金を注ぎ込む

- 継続就業層の80%が保育施設を利用している。やはり、働くためには施設の利用が必要となる。
- その費用はかなり高額。月額50,000円以上が4割近くを占める。10万円以上という回答も。

保育支援施設の利用状況



保育支援施設にかかる月額費用



【集計結果】

育児施設の利用	利用している	利用していない
継続就業 (n=150)	80.0	20.0
離職 (n=150)	16.0	84.0
復職 (n=83)	74.7	25.3

育児支援にかかっている月額金額	10,000円未満	10,000円台	20,000円台	30,000円台	40,000円台	50,000円台以上	70,000円台以上	10万円以上	利用していない
継続就業 (n=150)	5.3	2.7	8.7	8.0	18.0	28.0	6.7	2.7	20.0
離職 (n=150)	10.7	0.0	1.3	0.7	0.0	3.3	0.0	0.0	84.0
復職 (n=83)	9.6	13.3	14.5	12.0	13.3	9.6	2.4	0.0	25.3

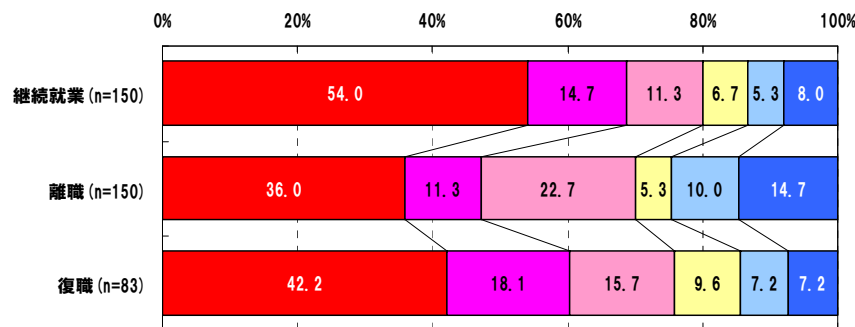
3-4. 家事の効率化

●家事を効率よくするために、どのような商品やサービスがあると良いと思いますか？

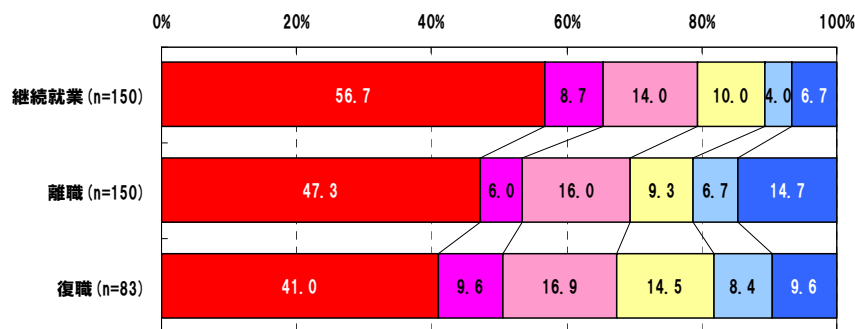
◇今後はサービス面のサポートに期待

- ▶ 継続就業では食器洗い乾燥機、洗濯乾燥機の所有率が50%以上。家事の省力化のためにお金を掛けていることが伺える。
- ▶ 現時点では利用者は少ないが、掃除代行や家政婦といったサービスでの省力化の利用意向も高い。特に専門性が求められる「掃除代行」の利用意向のたかさが注目される。

食器洗い乾燥機

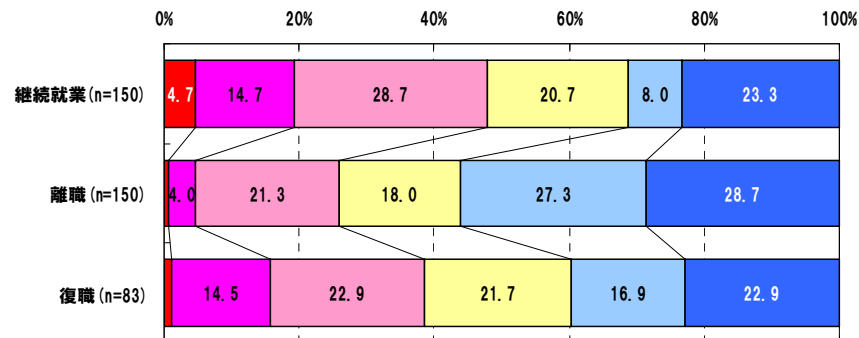


洗濯乾燥機

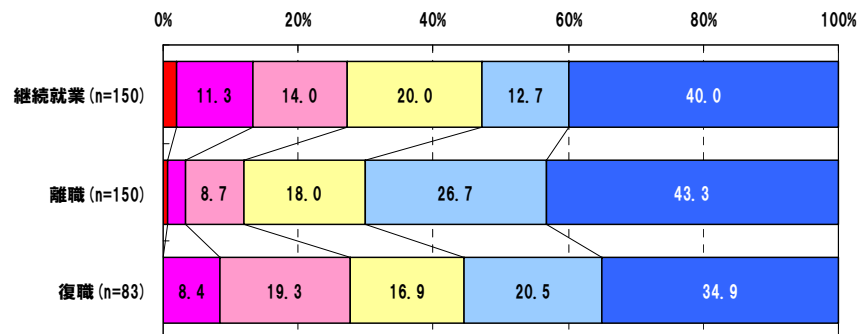


■ 既に所有している／既に利用している
 ■ 非常に欲しい／非常に利用したい
 ■ やや欲しい／やや利用したい
■ どちらともいえない
 ■ あまり欲しくない／あまり利用したくない
 ■ 全く欲しくない／全く利用したくない

掃除代行サービス



家政婦サービス



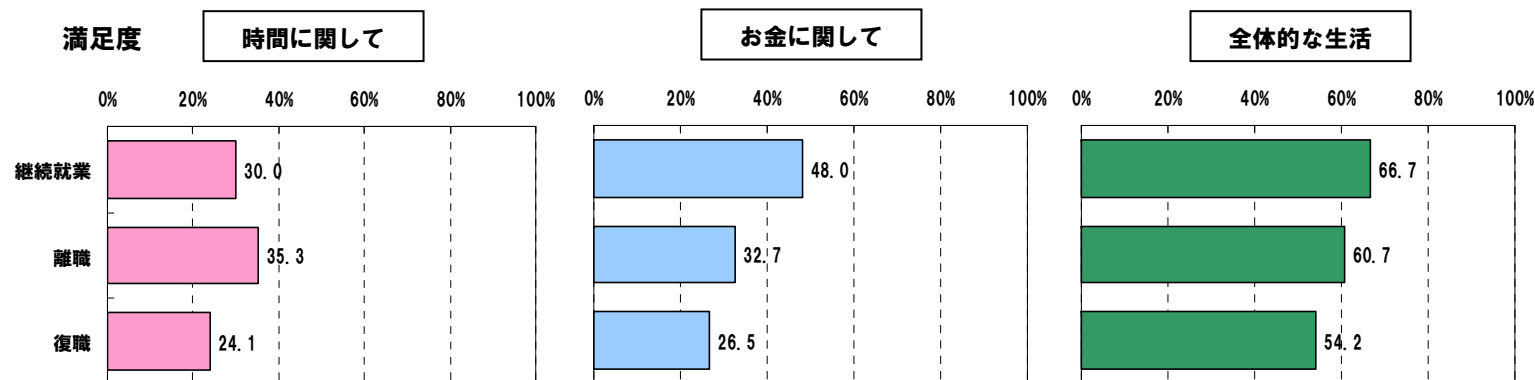
【集計結果】

		既に所有している	非常に欲しい	やや欲しい	どちらとも	あまり欲しくない	全く欲しくない
		既に利用している	非常に利用したい	やや利用したい	いえない	あまり利用したくない	全く利用したくない
食器洗い乾燥機	継続就業 (n=150)	54.0	14.7	11.3	6.7	5.3	8.0
	離職 (n=150)	36.0	11.3	22.7	5.3	10.0	14.7
	復職 (n=83)	42.2	18.1	15.7	9.6	7.2	7.2
洗濯乾燥機	継続就業 (n=150)	56.7	8.7	14.0	10.0	4.0	6.7
	離職 (n=150)	47.3	6.0	16.0	9.3	6.7	14.7
	復職 (n=83)	41.0	9.6	16.9	14.5	8.4	9.6
掃除代行サービス	継続就業 (n=150)	4.7	14.7	28.7	20.7	8.0	23.3
	離職 (n=150)	4.0	21.3	18.0	27.3	28.7	
	復職 (n=83)	14.5	22.9	21.7	16.9	22.9	
家政婦サービス	継続就業 (n=150)	2.0	11.3	14.0	20.0	12.7	40.0
	離職 (n=150)	0.7	2.7	8.7	18.0	26.7	43.3
	復職 (n=83)	0.0	8.4	19.3	16.9	20.5	34.9

4. 生活満足度

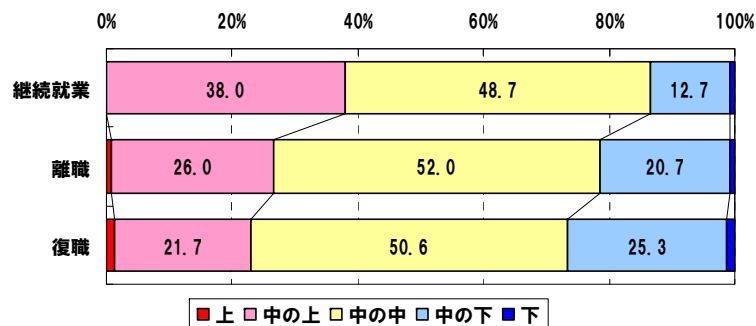
〔暮らしの満足度〕

複数の役割を果たす、継続就業層・復職層はもちろんのこと、離職層でも時間に関する満足度は低い。
 なお、子供がいるという充実感から生活全般の満足度は高い。



〔生活水準意識〕

継続就業層は世帯年収の高さが寄与し、上流意識が他2層より、階層意識が高いのが特徴。



この世代の母親の共通点として、
 時間に対する不満があげられる。
 育児の忙しさから当然。
 特に就業層の不満足度は高い。

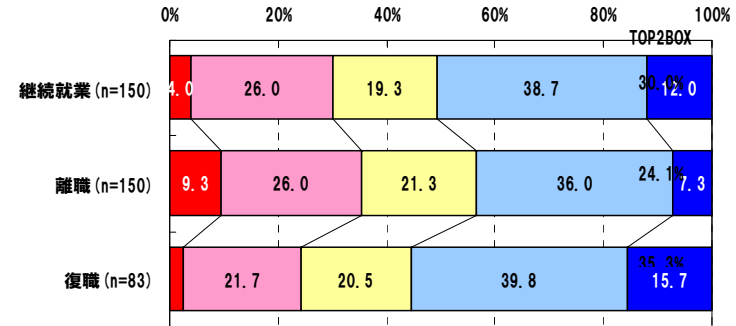
4-1. 暮らしの満足度

●あなたは、現在の暮らしに満足していますか？それぞれ「非常に満足している」～「全く満足していない」の5段階でお知らせください。

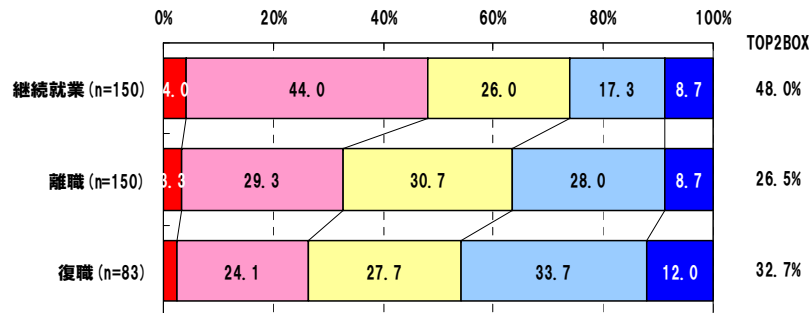
◇時間的不満にビジネスチャンスが

- 勤務時間が長く、時間的な余裕が持ちにくい継続就業層だけでなく、他の2層でも満足度が低い傾向が見られた。
- 継続就業層はお金に対する満足度は高い。時間での不満を金銭面で補うトレードオフが成立すると考えられる。

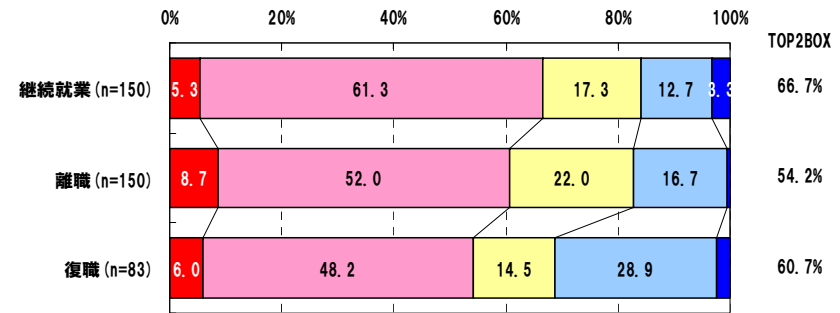
時間に関して



お金に関して



全体的な生活



■非常に満足している ■やや満足している ■どちらともいえない ■あまり満足していない ■全く満足していない

【集計結果】

		非常に満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	全く満足していない	TOP2BOX
時間に関して	継続就業 (n=150)	4.0	26.0	19.3	38.7	12.0	30.0
	離職 (n=150)	9.3	26.0	21.3	36.0	7.3	35.3
	復職 (n=83)	2.4	21.7	20.5	39.8	15.7	24.1
お金に関して	継続就業 (n=150)	4.0	44.0	26.0	17.3	8.7	48.0
	離職 (n=150)	3.3	29.3	30.7	28.0	8.7	32.7
	復職 (n=83)	2.4	24.1	27.7	33.7	12.0	26.5
全体的な生活	継続就業 (n=150)	5.3	61.3	17.3	12.7	3.3	66.7
	離職 (n=150)	8.7	52.0	22.0	16.7	0.7	60.7
	復職 (n=83)	6.0	48.2	14.5	28.9	2.4	54.2

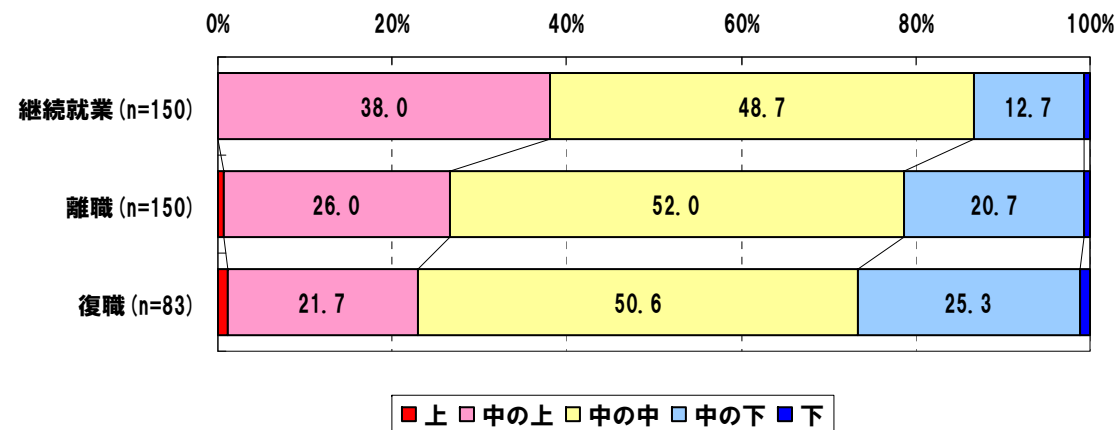
4-2. 生活水準

●あなたの現在の生活水準はどれくらいだと思いますか？

◇収入面では余裕のある継続就業

- 所得との連動が高いと考えられる階層意識では、収入の高い継続就業で、やや上流意識が高い傾向が見られた。
- この階級意識の高さを消費につなげる施策が考えられる。

現在の生活水準（本人評価）



【集計結果】

現在の生活水準	上	中の上	中の中	中の下	下
継続就業 (n=150)	0.0	38.0	48.7	12.7	0.7
離職 (n=150)	0.7	26.0	52.0	20.7	0.7
復職 (n=83)	1.2	21.7	50.6	25.3	1.2